

令和4年度 学校関係者評価書

1 学校教育活動全般について

- 素晴らしい学校教育目標（めざす学校像、児童・生徒像・教師像）を掲げ、その目標に向かい、子供たちを育成された1年でした。
- コロナ禍において、工夫して教育活動を行っている教職員の皆さまに感謝いたします。
- 今後、世界を担っていく子供たちの益々の成長が楽しみである。誰一人取り残さない持続可能で多様性のある社会の実現のために頑張っている。
- 学校としては、学力向上に力を注がれている。教職員全体での底上げの努力は見られる。
- 自他を大切にするような学校内外の体験的活動も重視していくとよい。
- かつての学校と違い、ICT機器を活用した授業が多く見られる。
- コロナの状況も変わりつつあり、色々な課題を学校・PTA・地域がさらに連携を深め、協力していくことが求められている。

2 学校から提示された方針等について

- 6年生が続けている朝のあいさつ運動はとても良い活動だと思う。今後も続けてほしい。
- あいさつに関しては、自らあいさつできる児童が多い。しかし、できない、しない児童もいる。家庭、地域の力も必要だと思う。
- 学校公開週間での保護者参加率をさらに上げていただきたい。
⇒現状のままでは変わらない。(教員だけでなく、保護者を交え意見交換が必要)

3 その他（ご意見・ご感想等）

- 鹿浜第一小学校は全体的に落ち着いている。
- 校長先生のブログは楽しみに拝見しています。アクセス数が伸び悩んでいるようだが、これからも続けてほしい。
- 学校は授業の補助や環境整備など、地域やPTAの人材をもっと活用したらどうか。
- 家庭学習の習慣は、家庭の協力無しでは身に付かない。
- 世の中ではSNSによる問題も起きている。情報モラルに関する教育も大切にしたい。
- 学習発表会では、日頃学習したことを発表方法も工夫していることが素晴らしい。今後も継続していただきたい取り組みである。